「新大分スタンダード」による主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導案（略案）例

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ①学年・組 | | ②職名・授業者氏名 | | ③教科 | ④ペアでの  話合い活動 | ⑤グループでの  話合い活動 |
| ６年１組 | | 教諭・日田　太郎 | | 国語 | 有 ・ 無 | 有 ・ 無 |
| ⑥単元名(題材名) | | 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう　『海の命』 | | | | |
| ⑦本時のねらい | | クエにもりを打たないことを選択した太一の生き方を、  周囲の人物の言動や様子など複数の叙述と比較・関連付けることによって、  具体的に想像することができるようにする。 | | | | |
| ⑧本時の評価規準 | | 【思考・判断・表現Ｃエ】登場人物の言動や様子など複数の叙述と比較したり、関連付けたりして、太一の生き方を具体的に想像している。〔ノート〕 | | | | |
| ⑨  展開 | めあて | クエにもりを打たないことを選んだ太一の生き方について話し合おう | | | | |
|  | 課　題 | だれが、太一にどのような影響を与えたのかな。 | | | |
| 手立て | 「Ｃ:努力を要する」状況の児童への手立て  ・太一に影響を与えたことが想像できる叙述を人物関係図に書き込ませることで、相互関係をとらえやすくする。 | | | |
| 「特別な支援等の配慮を要する」児童への手立て  ・物語全体から必要な情報をとらえることが難しい児童に対して、人物と視点、読む範囲を限定してとらえやすくする。 | | | |
| まとめ | 与吉じいさと父母のそれぞれが、海と家族の命を守りながら漁師を続けていく生き方に影響を与えた。 | | | |
| 振り返り | ・太一の生き方には、与吉じいさや父母の言動や生き方が影響を与えていることがわかった。  ・物語の山場の心情は、冒頭や結末場面などとも結び付けることで、より深く想像することができると思った。　　等 | | | | |
| 板書計画  めあて  クエにもりを打たないことを選んだ太一の生き方について  話し合おう  海の命　　　　　　　　立松　和平  課題  だれが、太一にどのようなえいきょうをあたえたのかな。  〈与吉じいさ〉  「千びきに一ぴきでいいんだ。」  「ずっとこの海で生きていけるよ。」  〈父〉　　　　　　　　　　　　　　　　　〈太一〉  **海の命を守る生き方**  じまんすることもなく  「海のめぐみだからなあ。」  不漁の日が十日続いても…  〈母〉  家族を守りきれなかった  「おそろしくて、夜もねむれない」  おだやかで満ち足りた、美しいおばあさん  クエを  打たない  選択  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　子ども四人  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　元気でやさしい  **家族の命を守る生き方**  まとめ  ・与吉じいさと父母のそれぞれが、海と家族の命を守りな  がら漁師を続けていく生き方にえいきょうをあたえた。  ふり返り  ・太一の生き方には、与吉じいさや父母の言動や生き方がえいきょうをあたえていることがわかった。  ・物語の山場の心情は、冒頭や結末場面などとも結び付  けることで、より深く想像することができると思った。 | | | | | | |